

## 原著号投稿規定

(2016年9月12日改訂)

1. 口腔・咽喉科原著号への投稿者は共著者も含めて原則として日本口腔・咽喉科学会会員に限る。
2. 投稿原稿は口腔および咽喉領域に関するもので、他誌に発表されていない論文に限る。
3. 投稿に際しては下記の点に注意する。規定に従わないものは受理しない。
  - 1) 原稿は3部提出すること。

原稿は3部のうち2部はコピーでもよいが、写真については、3部ともコピーは認めない。
  - 2) 使用機種およびソフトを明記したCD-ROM等電子媒体を添付すること。
  - 3) 原著論文は刷り上がり20頁(図表を含む)までを原則とする。
  - 4) 題名は原則として20字以内とし、10字前後の略題をつけ、英文タイトルを必ず附記すること。

英文タイトルは文頭のみ大文字とすること。
  - 5) 本文は日本語または英語とする。

日本語は当用漢字、現代かなづかい、ひらがなを用い、1頁400字で行をあげずに楷書横書きとし、ページ数を入れること。

英文はA4用紙にdouble spaceでタイプし、ページ数を入れること。
  - 6) 外国人名、和訳しにくい用語のほかは日本医学会医学用語委員会編「医学用語事典(南山堂)」「耳鼻咽喉科学用語集(金芳堂)」による和文を原則とする。
  - 7) 原著論文は300字以内の和文要約および3~5語の日本語キーワード、200~300語の英文抄録(対象、方法、結果、結論を明確に含んだもの)とその和訳、日本語キーワードに対応する英語のキーワードを添えること。
  - 8) 原著論文以外は300字以内の和文要約および3~5語の日本語キーワードとそれに対応する英語のキーワードを添えること。
  - 9) 1頁目に題名、略題、英文タイトル、著者名(日本語および英語)、所属(日本語および英語)、連絡先、筆頭者の生年月日(著者の生年月日は奨励賞の選考に際し必要となる)、別刷希望部数、別刷請求先を記載すること。英語表記の著者名は語頭を大文字、フルネームとすること。

2頁目に和文要約とキーワード、3頁目に英文抄録とキーワード、および和訳を記載すること。

4頁目より本文とし、原著は原則として「目的」「対象」「方法」「結果」「考察」「結論」を明確に記載し、「謝辞」「付記」「文献」「図」「表」「図表のタイトルおよび説明」の順に原稿を整えること。原著以外はこの限りではない。
  - 10) 図(写真を含む)・表の掲載はモノクロームを原則とし、グラフは平面図とし、そのまま製版できるよう明確にすること。なお、図表は学会発表等で使用したpower pointでの作図表そのままではなく、投稿原著として適切な字体を用い、背景や陰影などは消去したうえで提出すること。

また、上下を明示し、一連の番号をつけて本文と別に添付すること。

カラー掲載(著者負担)を希望の場合はその旨明記すること。

他誌の図表を引用する時は、著作権のある出版社から転載許可を受けること。
  - 11) 引用した文献は、本文中において該当箇所の右肩に順次番号をつけ、文献の欄にその番号を引用順に列挙すること。

(例) 後藤ら<sup>1</sup>、睡眠時無呼吸症候群<sup>5,7,9-12</sup>
  - 12) 引用文献の記載は以下の形式による。

共著者多数の場合は、著者の数は3名まで記し、それ以上は、邦文では「他」欧文では「et al」を用いて省略すること。電子文献の記載については、

「SIST 参考文献の書き方 ([http://sist-jst.jp/handbook/sist02\\_2007/main.htm](http://sist-jst.jp/handbook/sist02_2007/main.htm))」を参照すること。

・原著の場合

(例) 濱田奈緒子, 増田 毅, 関根大喜, 他: 多発性肺転移と骨転移をきたした顎下腺多形腺腫例. 口咽科 2011; 24: 97-101.

(例) Winkler E, Goldan O, Regev E, et al: Stensen duct rupture (sialocele) and other complication of the Aptos thread technique. Plast Reconstr Surg 2006; 118: 1468-1471.

・単行本の場合

著者名: 題名. 編集者名, 書籍名. 発行地, 発行社名; 発行年度(西暦), p. 初めの頁-終わりの頁.

(例) 猪 初男: 扁桃の免疫臓器としての位置づけ. 野坂保次, 猪 初男, 斎藤英雄 監, 扁桃. 東京, 日本医事新報社; 1985, p. 465-477.

(例) Brodsky T: Tonsillitis, tonsillectomy and adenoidectomy. Bailey BJ, Johnson JT, Kohut RI, eds. Head & Neck Surgery-Otolaryngology, Philadelphia, JB Lippincott Co.; 1993, p. 833-847.

- 13) 原稿作成に当たっては、その内容の倫理性に十分配慮する。人を対象とする医学系研究についてはヘルシンキ宣言を遵守するとともに、内容に応じてインフォームド・コンセントを明記する。また、個人情報保護法に抵触しないように十分配慮し、当該研究が各施設内の倫理審査委員会あるいは治験審査委員会等の承認のもとにおこなわれたことならびにその承認番号を明記する。動物を用いた研究については、当該施設における動物の保護および管理に関する規定を満たすことならびにその承認番号を明記する。症例報告においても、必要に応じて同様に対応する。
4. 投稿論文の採否、掲載順などは査読の上編集委員会で決定する。
5. 校正は初校正を著者校正とする。
6. 別刷は無料 30 部、追加希望は 50 部単位とし、希望総部数を原稿表紙に朱記すること。  
発刊後の増刷は行わない。
7. 掲載実費は下記による。
- 1) 論文印刷費は 40,000 円まで学会負担とし、それを超える分は著者負担とする。
  - 2) 図版、表組、カラー、その他特殊印刷に要した費用は著者負担とする。
  - 3) 別刷代金は 30 部まで学会負担とし、それを超える分は著者負担とする。
  - 4) 英文抄録の校閲費用は著者負担とする。
8. 投稿原稿は原則として返却しない。
9. 本誌に掲載された論文の著作権は日本口腔・咽頭科学会に帰属する。
10. 利益相反に関しては、日本耳鼻咽喉科学会が定める規定に則り、投稿時に有無について明記する。
11. 投稿および校正原稿は下記宛に、簡易書留等、配達記録が残るものにて送付すること。  
E-mail では受け付けない。

送付先: 日本口腔・咽頭科学会事務局

〒108-0073 港区三田 2-14-7 ローレル三田 1205 号

TEL:03-3453-5910 FAX:03-3453-5918

編集担当理事: 阪上雅史・兵頭政光

編集委員長: 山村幸江

編集委員: 岩井 大・工藤典代・嶋原俊太郎  
角田篤信・橋口一弘・藤本保志